

1. 来館者について

(1) 来館者数の推移集計

令和6年4月から令和7年3月までの入館者数は表1・表2のとおりです。3月は機械カウント人数、有料入館者数ともに前年を上回る数字になりました。

一方、令和7年4月から6月までの機会カウント人数は令和6年度の同月の数値よりも下がっています。代わりに、4月・6月で有料入館者数が増えました。昨年は4月に「丹波のむかしばなし展」を開催していたため、無料エリアのみで満足度がある程度得られ、有料入館者数の落ち込みにつながったのではないかと考えられます。6月は夏季特別展の開催時期を例年よりも早めたことが有料入館者数の増加につながったと考えられます。

表1 令和6年度 月別入館者数 ※（ ）内は前年度同月比

月（開館日数）	機械カウント [人]	有料入館者数 [人]	入館料収入 [円]
4月 (25日)	2,910(102.8%)	242(69.1%)	46,970(66.3%)
5月 (27日)	2,677(113.5%)	260(70.8%)	52,840(75.9%)
6月 (26日)	2,340(114.2%)	194(88.6%)	34,580(87.3%)
7月 (26日)	3,567(110.5%)	441(106.5%)	83,180(105.5%)
8月 (27日)	4,424(120.5%)	803(158.7%)	158,850(159.6%)
9月 (25日)	2,362(96.7%)	406(153.8%)	81,850(152.2%)
10月 (27日)	2,391(89.5%)	184(63.9%)	34,680(65.7%)
11月 (26日)	2,024(85.7%)	266(156.5%)	42,990(133.6%)
12月 (24日)	1,298(84.7%)	76(79.2%)	15,390(78.5%)
1月 (24日)	1,395(99.3%)	96(63.6%)	17,850(63.8%)
2月 (24日)	1,299(88.3%)	143(115.3%)	22,990(91.4%)
3月 (26日)	1,774(103.6%)	182(145.6%)	33,600(135.4%)
合計 (307日)	28,461(102.6%)	3,074(107.2%)	625,770(105.2%)

氷上回廊水分れフィールドミュージアム 令和7年度 第一回運営委員会

【資料1】

表 2 令和7年度4月～6月 月別入館者数 ※（ ）内は前年度同月比

月（開館日数）	機械カウント [人]	有料入館者数 [人]	入館料収入 [円]
4月 (26日)	2,518(86.5%)	307(126.9%)	63,370(134.9%)
5月 (27日)	2,091(78.1%)	225(86.5%)	42,140(79.8%)
6月 (25日)	2,020(86.3%)	234(120.6%)	46,400(134.2%)

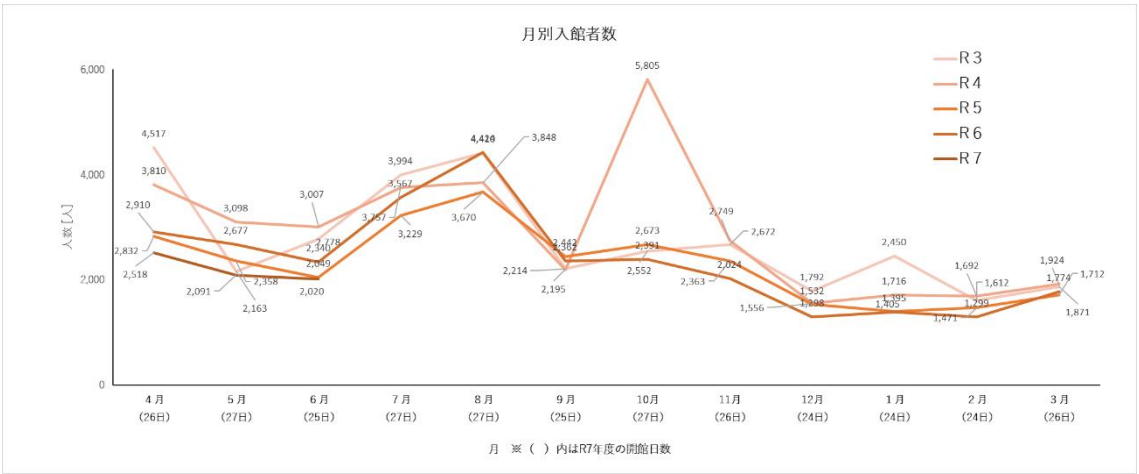


図 1 令和3～7年度6月 月別入館者数

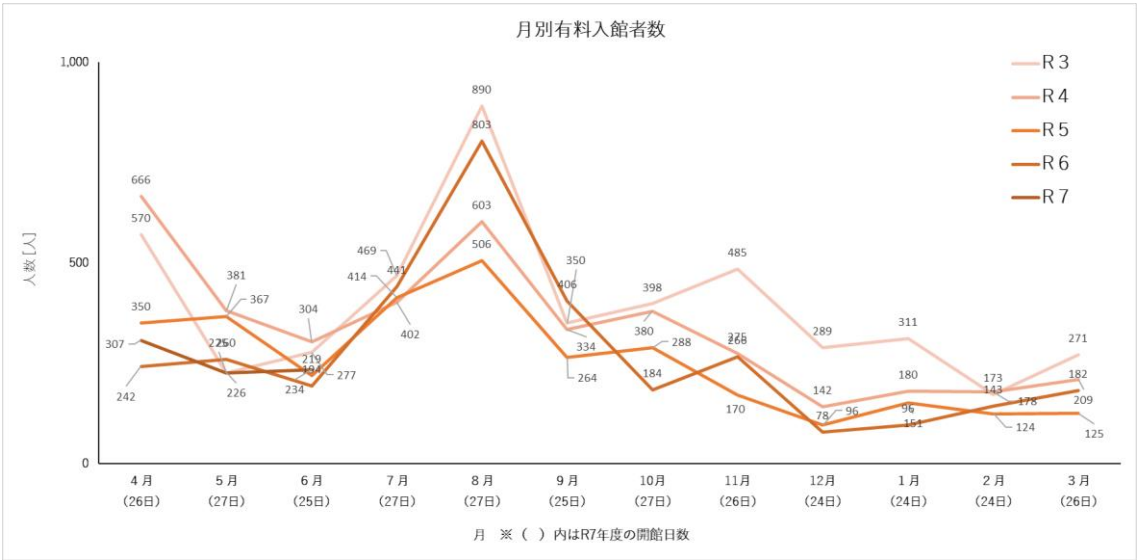


図 2 令和3～7年度6月 月別有料入館者数

(2) 来館者アンケート集計

①アンケート集計

令和7年4月1日から令和7年7月18日までに収集したアンケート179件について集計しました。アンケートは常設展の観覧チケットを購入した方を対象にしています。回答いただく項目は年代・お住まいの地域・当館を知った媒体・交通手段・来館回数・感想です。

年代別の来館者数は図3のとおりです。40～50代を中心として来館いただいている傾向に変わりはありませんが、前回と比較すると10代以下の割合が減少し、50代の割合が増加しました。夏休みシーズンのアンケートを反映していないため、偏りが生じているものと思われます。

広報媒体別の来館者数は図4のとおりです。SNSのフォロワー数が700名を超え、広報媒体としての一定の効果が見られるようになってきたように思います。一方で、チラシの配布効果があまりあがっていません。出張展示等の機会をとおして配布をすること・近隣の学校へのアプローチが必要です。

リピーターの割合を図5のとおり示しました。母数は少ないものの、丹波市内のリピート割合は昨年同時期と比較して増加傾向にあります。引き続き、特別展・企画展・イベントを工夫し、丹波市の方に親しんでもらえる施設を目指します。

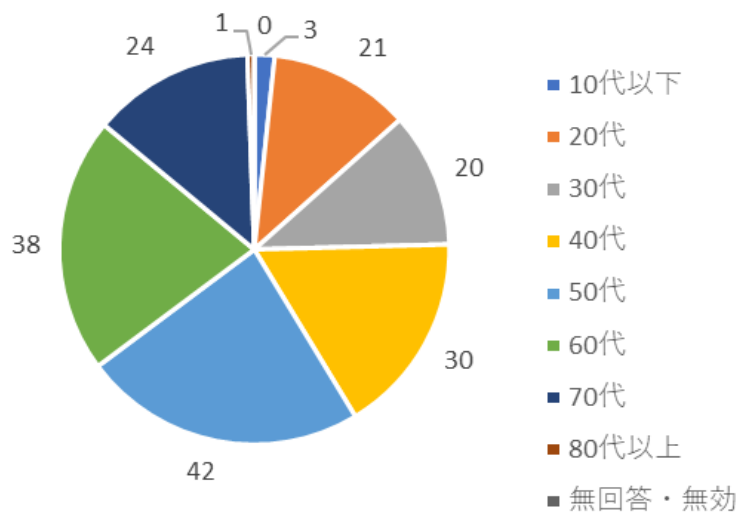


図3 令和7年度4月～7月18日 年代別来館者数

氷上回廊水分れフィールドミュージアム 令和7年度 第一回運営委員会
【資料1】

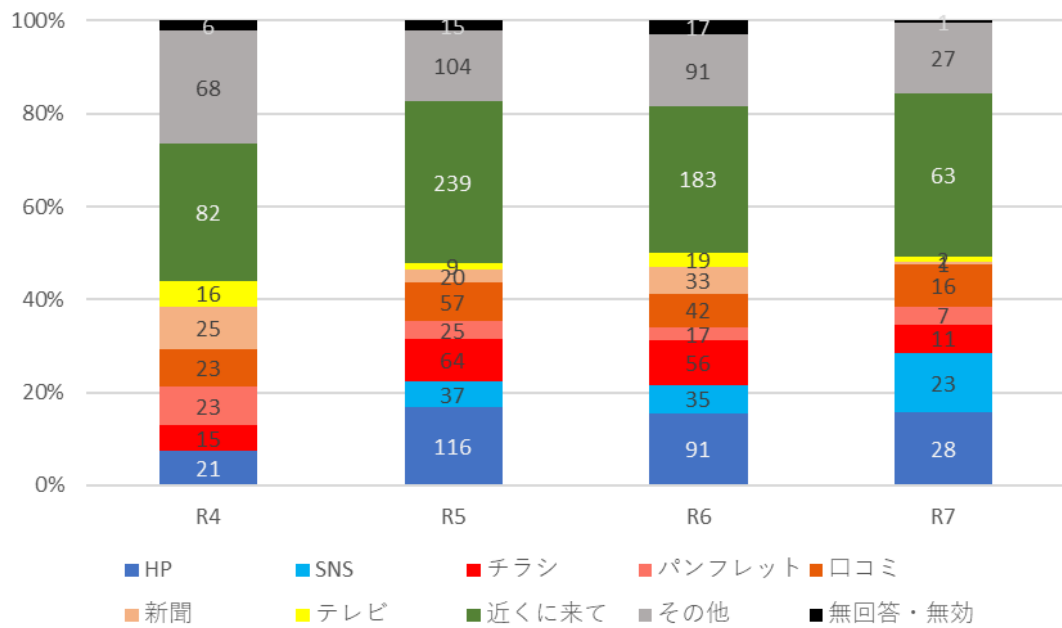


図4 令和4年度～令和7年度（7月18日現在） 広報媒体別来館者数

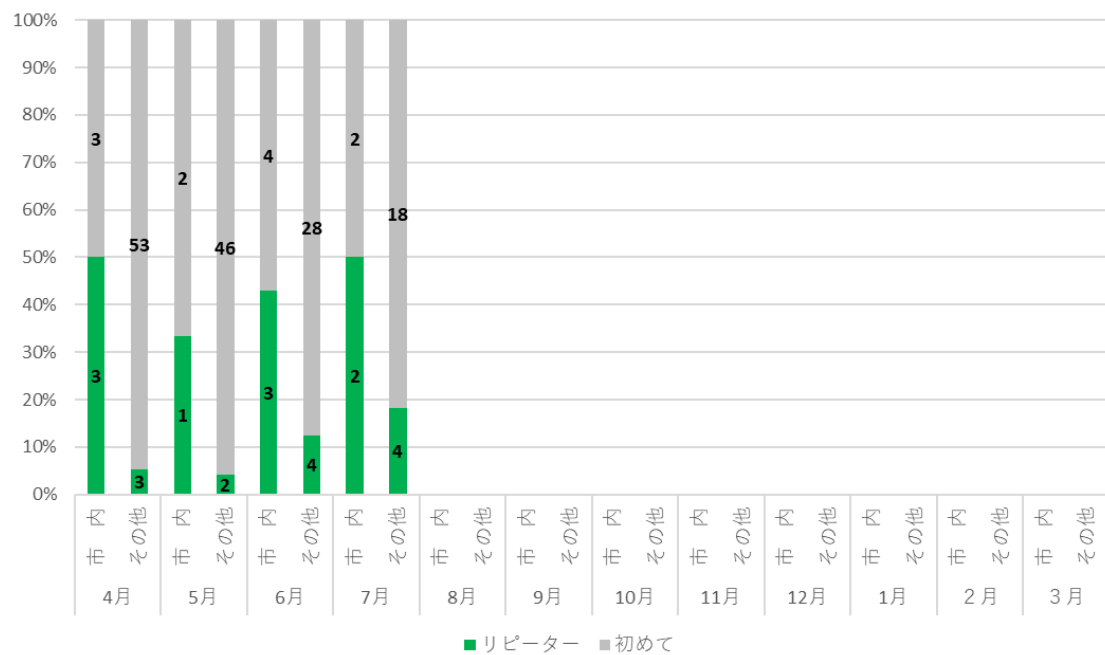


図5 令和7年度 市内とその他の地域のリピーター割合

②自由記述集計

任意で記入いただいている自由記述欄を内容に応じて分類し、集計しました。昨年度と同様に、アンケート 179 件のうち、「勉強になった」という声が 80 件と最も多く見られました。そのうち、具体的に「スタッフに説明をしてもらえてよかった」と記述されている回答が 8 件ありました。

【ポジティブな意見】

自然・風景 4 件

子どもの遊び場 12 件

施設がきれい 1 件

勉強になった 80 件（うちスタッフの対応 8 件）

企画展・特別展 11 件

リニューアル 2 件

その他 33 件

無回答 35 件

【コメントなど】

もっと知られてほしい 3 件

企画展・特別展 1 件

2. 企画展およびワークショップについて

(1) 令和7年度に実施する展示およびワークショップ

令和7年度に実施する予定の展示およびワークショップは表3・4・5のとおりです。

表3 令和7年度企画展

企画展名	委託・協力	会期	日数 [日] (休館日除く)
夏季特別展 「はね展」	箕面公園昆虫館、兵庫県立人と自然の博物館、伊丹市昆虫館、藤井幹氏、相模原市立博物館	6月21(土)～ 8月31日(日)	62
秋季特別展 「モズのはやにえりター ンズ」	伊丹市昆虫館、西田有佑氏(株 式会社バイオーム)	10月22日(水) ～12月21日 (日)	53
冬季企画展 「川を使う」		1月半ば～4月 半ば(予定)	

表4 令和7年度 出張展示ほか

企画展名	会期	場所
青少年のための科学の祭典 2025	令和7年7月27日(日)	市民プラザ ポッ プアップホール
市ミュージアム合同企画展「大 阪・関西万博開催記念 職員の 推したい一品 第2弾」(仮称)	令和7年10月4日(土)～11月 30日(日)	柏原藩陣屋跡
合同ワークショップ「丹波ミュ ージアム・フェア」(仮称)	令和8年1月11日(日)・12日 (月・祝) 午後1時～午後4時	植野記念美術館 2 階研修室

表5 令和7年度ワークショップ

月 日	曜日	内 容	参加人数(うち 小中学生以下)
4/13	日	向井—ヒカゲツツジハイキング	中止
4/29	火祝	春の花のたたき染め	中止
5/3	土祝	缶バッジづくり	15(11)
5/6	火祝	はっぱのしおりづくり	4(3)
5/31	土	ジオの教室 化石発掘体験①	11(5)
5/31	土	ジオの教室 化石発掘体験②	10(5)
5/31	土	ジオの教室 ミニツアー	21(2)
6/28	土	翅のある虫をつかまえて観察しよう	9(4)
7/6	日	昆虫の翅を知ろう	8(4)
7/20	日	生物に触れる夏の自然探索	13(8)

(2) 展示および関連ワークショップのアンケート集計

展示関連イベントについて、各ワークショップ参加者を対象にアンケート調査を実施しました。年齢、お住まい、当館を知った広報媒体、ワークショップの満足度（学ぶことはあったか・楽しかったか、また参加したいか）について回答いただいています。

7月までに実施した特別展関連ワークショップ2件について、年代・お住まい・満足度の回答結果を集計しました。満足度は5段階評価の平均点を算出しました。

①夏季特別展「はね展」

箕面公園昆虫館で開催されていた「翅-かたちとしくみ-」の解説パネルを借用し、昆虫の翅についての紹介をするほか、鳥類の羽根のパネルを追加して水分れフィールドミュージアム用の展示に構成しました。昨年度実施した「むしのうんこ展」と比較して、話題が専門的なものであるため、展示へのコメントは賛否がわかれしました。来館者数は昨年と比較して落ちているものの、遠方から羽根を集めている子どもが興味をもって来館するなど、一定の効果が見られました。

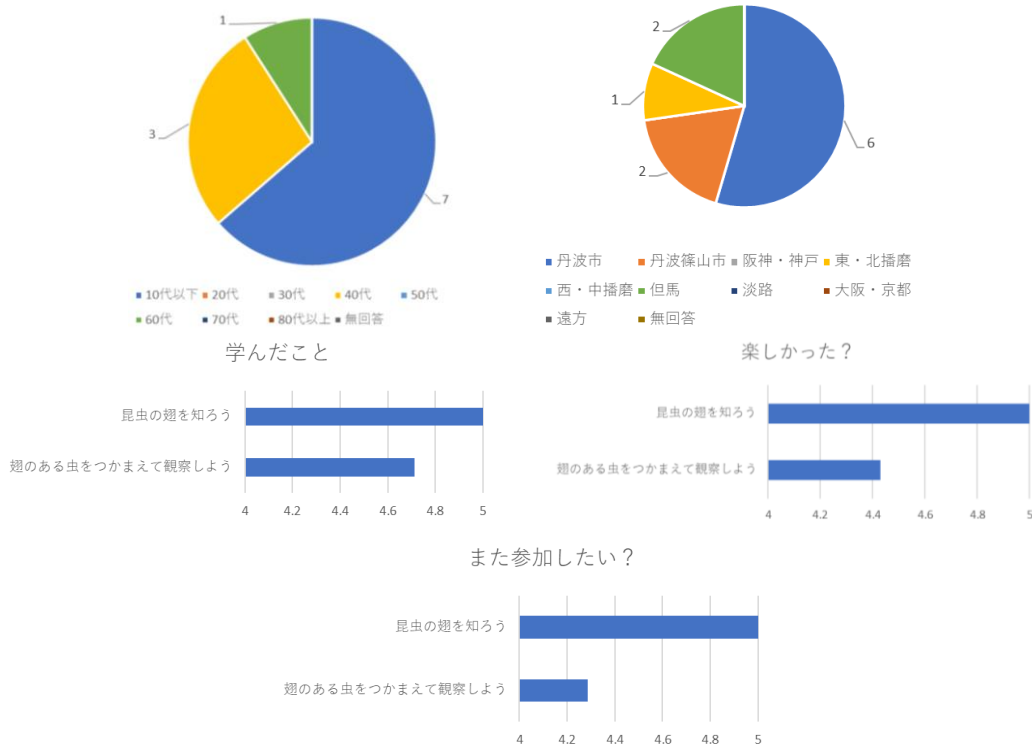


図6 「はね展」関連ワークショップのアンケート結果

3. 学校対応

令和7年度本日までの来館対応・出前授業は表6・7のとおりです。どちらも昨年度と比較すると回数が落ちているため、繰り返し学校へPRしていく必要があります。東小学校を対象に実施する川の観察会は今年で3年目となり、恒例のイベントになりつつあります。秋には地域学習の一環で来館する予定があり、プログラムとしての流れができつつあるように感じます。同様に、春日中学校・柏原中学校の地域学習（インタビュー・質問）についても、昨年と同様問い合わせをいただきました。市内の学校とのつながりを切らさないよう、対応できる範囲を広げていきたいと思います。

今年はこども園の利用がまだありません。昨年度は小さい子でも楽しめる「むしのうんこ展」を開催していたため、こども園が外出先として選びやすかったのに対し、今年の「はね展」は内容が難しいこと、チラシのデザインもリアルなイラストを用いたものになっていることから、興味をひけなかったのではないかと思います。

表6 令和7年度 来館学校

学校名	回数 [回]	人数 [人]
南小学校 4-5 年生(7/24)	1	10
福知山高校附属中学校 1 年生(7/25)	1	40
春日中学校 2 年生(8/1)	1	5

表7 令和7年度 出前授業 実施状況

学校名	回数 [回]	人数 [人]
氷上高校 1 年生 (6/24)	1	17
東小学校 3 年生 (7/2, 7/16)	2	83
学芸員実習生 (7/25)	1	8



4. みわかれいきもの調査隊

令和3年度から農業体験事業参加者を対象に実施してきたビオトープ調査グループを今年度から「みわかれいきもの調査隊」として新しいグループを発足し、丹波市市島町にある三ッ塚史跡公園でビオトープの調査を実施するほか、バードウォッチング等水分れフィールドミュージアム付近での観察会も取り入れ、丹波市に生息する生き物を幅広く理解できる環境学習プログラムを実施しています。

活動で捕獲した生物は一部標本にして水分れフィールドミュージアムの資料として保管し、常設展の提示物として利用することで、常設展の生物エリアをより丹波市らしい内容に変えていくことを目指します。

7月末までの「みわかれいきもの調査隊」のイベントは表8のとおりです。会員として登録した方を対象に、イベントの発信をしています。特定のメンバー向けに情報発信をすることで、広報における事務負担を減らしつつ、会員として繰り返しイベントに参加いただくことで水分れフィールドミュージアムの「ファン」を獲得するのを狙いとしています。現在5家族+大人の会員2名が登録しており、少しずつ生き物や自然が好きな方が集まっている状況です。

表8 みわかれいきもの調査隊観察会・ワークショップ

調査	日程	人数	小人	大人
ビオトープセミナー	4/19 (土)	11人	5人	6人
ビオトープ整備作業	4/27 (日)	17人	10人	7人
封入標本をつくろう	5/10 (土)	4人	4人	0人
ビオトープ整備作業	5/18 (日)	2人	1人	1人
バードウォッチング	6/1 (日)	7人	3人	4人
ビオトープ整備作業	6/22 (日)	6人	3人	3人
科学の祭典準備	7/5 (土)	2人	1人	1人
科学の祭典	7/27 (日)	12人	6人	6人



令和7年度の取り組み（予定）

1. 博学・博博連携の推進

- ・ 合同企画展の実施
- ・ 市内教育施設連携誌（わっとみゅーじあむ）の作成
- ・ 市内教育施設の合同イベント実施
- ・ 小学校、中学校と連携のとれた授業の実施

☒ 他施設への出前講座の実施

☒ トライやる・ウィーク受け入れ

2. 地域やその他団体との連携

☒ 駐車場等の貸出

- ・ 市内のグループ・個人を講師としたイベントの開催

☒ ギャラリー、多目的室の貸出

3. 施設管理等館内業務

- ・ 職員向けの研修、定期的な会議の実施
- ・ 館内の物品（標本含む）の整備、リスト化
- ・ 地域の自然・生き物の情報収集

4. その他

- ・ ビオトープ調査